



 加古川市立神吉中学校

# 学校だより

第35号  
校長室より

## 避難訓練を実施しました！

1月17日（金）の5校時、地震を想定した避難訓練を実施しました。災害による被害を軽減するためには、自分自身が災害から逃れるための知識（自助）と、他人を助けるための知識（共助）の2つが必要であると言われています。阪神淡路大震災後の救助活動では、助かった人のうちの97.5%が、家族や友人、隣人、通行人など、住民同士の助け合いにより助かったという記録があります。これは、兵庫県の人たちが互いに協力し合って震災に立ち向かった結果だと言えます。南海トラフ地震の発生が警戒されている状況において、事前の備えである避難訓練に参加することは、防災意識を高めるうえで非常に大切なことだと思います。生徒のみなさんは、今日の避難訓練を機に防災について積極的に調べ、いざという時の行動につなげてほしいと思います。



## 「1. 17のつどい」を行いました！

阪神淡路大震災から30年の追悼の日を迎えた1月17日には、全校生が体育館に集まり、生徒会執行部が分灯式から持ち帰った「希望の灯り」を囲んで「1. 17集会」を開催する予定でしたが、インフルエンザの感染拡大が心配される状況のため、リモートにより各クラスに分かれて「1. 17のつどい」を行いました。生徒会執行部が「分灯式」の報告をした後、「私たちにできることは何か 震災で何が起こったのか知ること 今ある時間を大切に生きること 忘れないこと・・・」などと、「1. 17宣言」を行いました。その後、「しあわせ運べるように」を心で合唱しました。

